

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	電気カンナ SEP-820		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	6ヶ月 (付属品は含みません)
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
※販売店	住 所			
	店 名	☎ ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

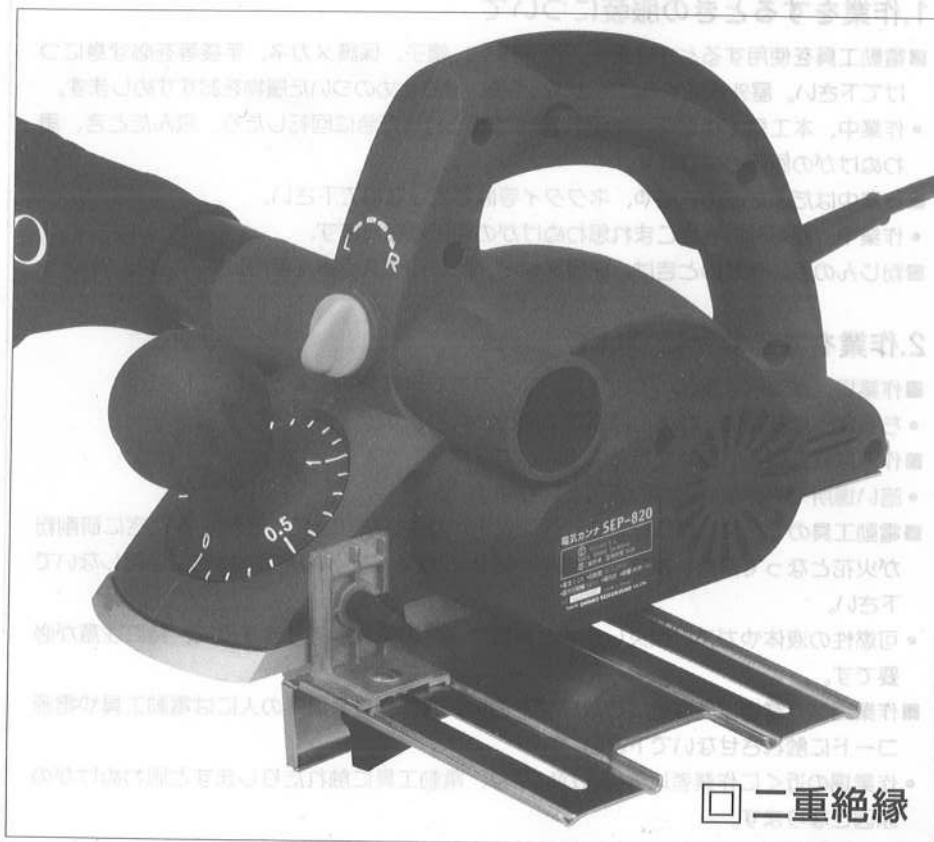
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (二) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

電気カンナ SEP-820

取扱説明書



このたびは**電気カンナ**をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業者以外の人がいる、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいた、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

電機カンナ使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、電機カンナとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途中において衝撃等により接続金具が外れたり、破損することがありますので、使用前に必ず各部を確認してください。破損をしたままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、プラグを点検してください。傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違えて表示を超える電圧に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- プラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 使用中は、本機を確実に保持してください。確実に保持していないと、本機が振れ事故の原因になります。
- 本機を雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。感電の恐れがあり危険です。
- ご使用前に必ず試運転をしてください。カンナ刃を交換した時は3分以上、通常の作業開始前には1分程度の試運転を心がけてください。
- 本機の使用では、水平で安定した場所を選定してください。不安定な作業台や場所での使用では、思わぬ事故の原因となります。
- 材料を手を持って切削をしないでください。カンナ刃に手が触れて、けがの原因になります。
- 本機を逆さに万力などで固定し、カンナ刃を上向きにした使い方はしないでください。カンナ刃に手や身体などが触れて、けがの原因になります。
- 使用中は、本機のダスト排出口に指などをいれないでください。回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- カンナ刃の交換、刃先高さ調節をするときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて交換、調節をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- カンナ刃の交換、刃先高さ調節後は、スパナ、レンチなどを取除きベルトカバーを外してベルトを手で回し、カンナ刃、カンナ胴が本体のどこにも接触せずにスムーズに回転することを確認してから、差し込みプラグを電源に接続して下さい。
- 作業員以外は、本機の回りに近づけないでください。身体の接触により、思わぬ事故の原因になります。
- 小さいお子様や、不慣れな方には絶対に使わせないでください。事故の原因になります。
- 作業員は、長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク等を必ず身につけてください。飛散物などにより、思わぬ事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください)。

⚠ 注意

- 付属品の取付けは、取扱説明書に従い**確実に**取付けてください。取付けが不十分ですと、外れて思わぬ事故の原因になります。
- 本機は、スイッチを切っても**カンナ刃の回転はすぐに止まりません**。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- プラグを電源に差し込んだままの持ち運びでは、**スイッチの引金に指をかけたまま行わないで下さい**。不意の起動により、思わぬけがの原因になります。
- カンナ刃の取扱いは、**手袋をはめたり布などで覆って**、十分注意して行って下さい。不用意な取扱いは、切傷の原因になります。
- 使用中は、本機の**底面に手など身体を近づけないで下さい**。カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- カンナ刃の交換や刃先高さ調節後は、**カンナ刃固定ボルトの締付けを確認**して下さい。ボルトの締付けが不十分ですと、外れてけがの原因になります。

仕様明細

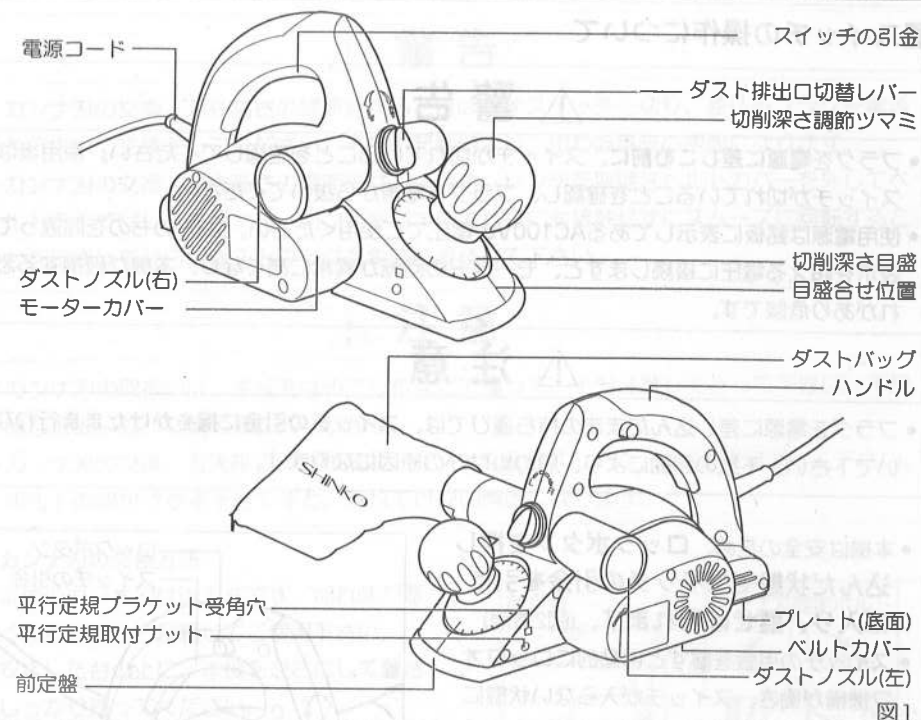
型 式 名	SEP-820
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	480W
電 流	5A
回 転 数	16,000min ⁻¹
最 大 切 断 幅	82mm
カンナ刃仕様	替刃式(82mm)
切 削 深 さ	0~2mm
電 源 コ ー ド	2.5m
質 量	3.2kg
定 格 時 間	30分
絶 縁 方 式	回二重絶縁

※ 本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

用途

- 木材の表面仕上げ、面取り、相ジャクリ

部品の名称



付属部品

平行定規	ダストバッグ	スパナ	六角レンチ

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

Ⓔ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

ご使用前の準備

■スイッチの操作について

⚠ 警告

- プラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違えて表示を超える電圧に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。

⚠ 注意

- プラグを電源に差し込んだままの持ち運びでは、スイッチの引金に指をかけたまま行わないで下さい。不意の起動により、思わぬけがの原因になります。

- 本機は安全のため、**ロックボタンを押し込んだ状態でスイッチの引金を引けば入り、離せば切れます。**(図2参照)
- スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が動き、スイッチが入らない状態になります。

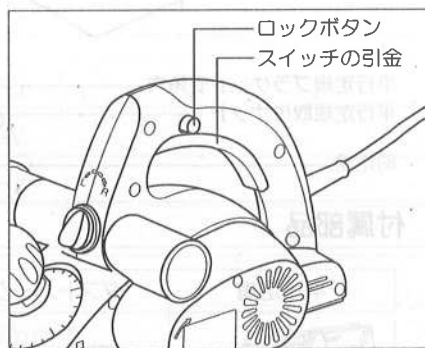


図2

■切削深さの調節方法

- 切削深さ調節は、切削深さ調節ツマミを回して行います。右に回すと切削は深くなり材料の削りが大きくなります。左に回すと切削は浅くなり材料の削りが小さくなります。(図3参照)
- 切削の深さは、切削深さ目盛に合わせて切削深さ調節ツマミを回すことで0~2.0mmの範囲で調節が出来ます。
- ④目盛の数字が大きくなると切削は深くなり、小さくなると切削は浅くなります。
- ⑤目盛は目安としてご使用下さい。

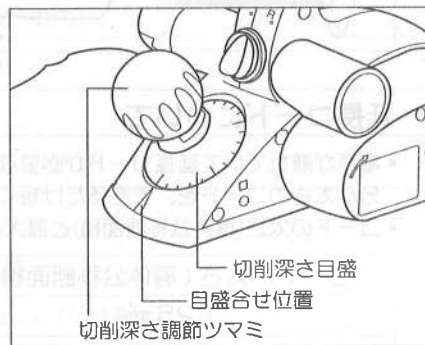


図3

■刃の交換と刃先高さ調節方法

⚠ 警告

- カンナ刃の交換、刃先高さの調節をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- カンナ刃の交換、刃先高さの調節後は、スパナ、レンチを取除きベルトカバーを外してベルトを手で回し、カンナ刃、カンナ胴が本体のどこにも接触せずにスムーズに回転することを確認してから、差込みプラグを電源に接続して下さい。

⚠ 注意

- カンナ刃の取扱いは、手袋をはめたり布などで覆って、十分注意して行って下さい。不用意な取扱いは、切傷の原因になります。
- カンナ刃の交換、刃先高さの調節後は、カンナ刃固定ボルトの締付けを確認して下さい。ボルトの締付けが不十分ですと、外れてけがの原因になります。

●カンナ刃の交換方法

- 本機のカンナ刃は両刃式です。切れ味が悪くなりましたら反転してご使用下さい。
- ①安定した台の上に、本機を逆さにして置きしっかり持ってください。
- ②カンナ刃固定ボルト(3本)を、付属のスパナでゆるめてください。(図4参照)
- ③カンナ刃を、右ベルトカバー側の端からスパナなどで左モーターカバー側に押し出して抜き取って下さい。(図4参照)
- ④カンナ刃抜き取りでは、カンナ刃ホルダを抜き出さないようにして下さい。
- ④交換したカンナ刃を、カンナ刃ホルダ中央になるように差込んで下さい。
- ⑤差込みがきついときは、⊖ドライバーなどでカンナ刃ホルダを少し開いて下さい。
- ⑥カンナ刃凹とカンナ刃ホルダ凸3ヶ所を合わせるようにして、カンナ刃を差込んで下さい。(図5参照)
- ⑦カンナ刃とカンナ刃ホルダはカンナ胴に対して、左右均一に固定して下さい。いずれかに片寄りし過ぎると、本体に接触する事があります。(図5参照)

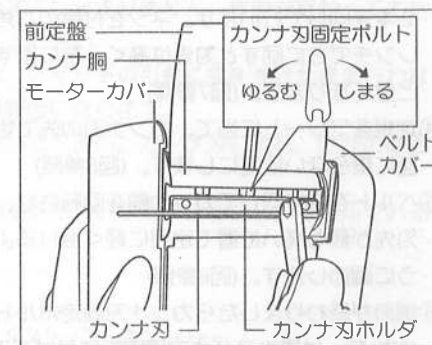


図4

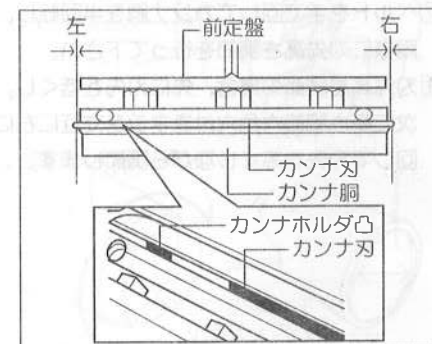


図5

- ⑤ベルトを手で回してカンナ胴を半回転し、同様に取外し、取付けを行って下さい。
(図6参照)

- ㊦カンナ刃の交換は必ず2枚同時にして下さい。別々にしますとバランスが悪くなり、振動が大きくなる場合があります。

●刃先高さの調節方法

- 本機のカンナ刃は、出荷時に刃先高さ調節をしてありますが刃の交換時や、使用中に狂いが生じる事があります。このような場合に刃先高さ調節をして下さい。

- ①安定した台の上に、本機を逆さにして置きしっかり持って下さい。
- ②カンナ刃固定ボルト(3本)を、付属のスパナでゆるめてください。(図4参照)
- ③刃先高さ調節は、高さ調節六角穴付きネジ2本を回して行います。ネジを付属の六角レンチで右に回すと刃先は高く、左に回すと低くなります。(図7参照)
- ④定規をプレートに当て、カンナ刃の先で定盤に乗らない位置にします。(図8参照)
- ⑤ベルトを手で回してカンナ胴を回転させ、刃先が最も高い位置で定規に軽く触れるように調節します。(図8参照)
- ⑥調節が終わりましたらカンナ刃固定ボルト(3本)を、付属のスパナで確実に締付けて下さい。(図4参照)
- ⑦ベルトを手で回してカンナ胴を半回転し、同様に刃先高さ調節を行って下さい。
- ㊦刃先高さ調節の場合、先に刃先を低くし、次に高さ調節六角穴付きネジを交互に右に回して刃先を高くしながら調節します。

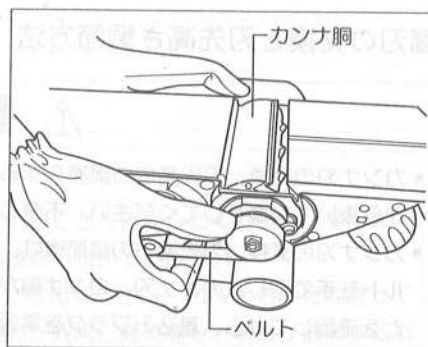


図6

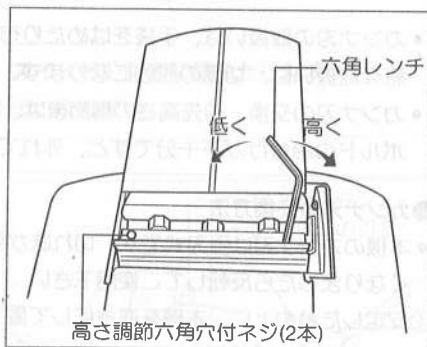


図7

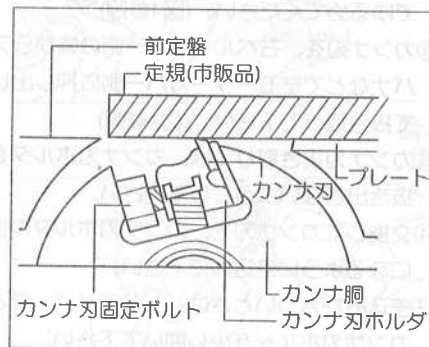


図8

ご使用方法

⚠ 警告

- 使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違えて表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 使用中は、本機を確実に保持してください。確実に保持していないと、本機が振れ事故の原因になります。
- 本機の使用では、水平で安定した場所を選定してください。不安定な作業台や場所での使用では、思わぬ事故の原因となります。
- 材料を手を持って切削をしないでください。カンナ刃に手が触れて、けがの原因になります。
- 本機を逆さに万力などで固定し、カンナ刃を上向きにした使い方はしないでください。カンナ刃に手や身体などが触れて、けがの原因になります。
- 使用中は、本機のダスト排出口に指などをいれないでください。回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 本機は、スイッチを切ってもカンナ刃の回転はすぐに止まりません。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- プラグを電源に差し込んだままの持ち運びでは、スイッチの引金に指をかけたまま行わないで下さい。不意の起動により、思わぬけがの原因になります。
- 使用中は、本機の底面に手など身体を近づけないで下さい。カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- カンナ刃の固定は、作業開始前、作業途中にゆるみがないか時々確認をし、ゆるんでいる時は付属のスパナで確実に締付けて下さい。

■ダストバックの使用方法(図9参照)

- 本機のカンナ刃切替レバーを㊸に合わせるとダストノズル右からダストを排出し、㊹に合わせると左から排出します。
- ①ダストバック差込み口のリップ(凸部)を上下にしてノズルに強く差込みます。
- ②差込み口を約45°回し排出口リップ(凸部)左右に噛み合わせてください。
- ㊺差込み口のリップ(凸部)と排出口リップ(凸部)はダストバックが簡単に抜けないようにするためです。必ず差込み口を回してください。
- ㊻ダストバックの中にある線材が上になるようにして下さい。
- ダストバックにたまったゴミは、バックのファスナーを引き、早めに捨てて下さい。

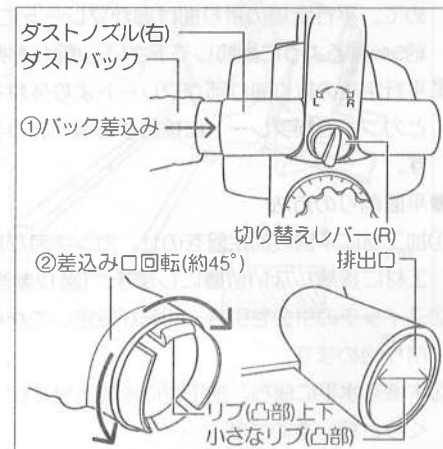


図9

■木材のカナナ削り

⚠ 注意

- 木材の削り以外には使用しないで下さい。
- 材料に釘などの異物が無い事を確認して下さい。カナナ刃に刃こぼれなど損傷を与えます。
- 堅い材料(ケヤキ材など)の研削では、刃先の摩耗が早くカナナ刃の切れ味が極端に悪くなります。切り込み深さを浅くし、ゆっくり削ります。又、カナナ刃の交換は早めに行ってください。

●平行定規の取付け方

- 付属の平行定規を使う事で、長尺材(幅67mmまで)を削り残しの無い、きれいな加工と、材料に段差をつける切削の相ジャクリ加工が可能になります。

Ⓜ 平行定規は目安としてご使用下さい

- ①両側面で定盤の上にある平行定規取付けナットに、平行定規ブラケットツマミねじを合わせて締めます。(図10参照)
- ②平行定規ブラケット受角穴に、平行定規ブラケット凸部を合わせてツマミねじを確実に締込んで下さい。(図10参照)

Ⓜ 平行定規ブラケットと本機の側面を密着させて下さい。

- ③平行定規のスライド固定ツマミネジをゆるめて、平行定規の折り曲げ部がプレートに約5mm乗るように調節して下さい。(図11参照)

Ⓜ 平行定規の折り曲げ部がプレートより外れるとカナナ刃がプレートに接触する事があります。

●平面削りの方法

- ①加工材に本機の前定盤をのせ、カナナ刃が加工材に接触しない位置にします。(図12参照)
- ②スイッチの引金を引き、回転が安定してから削り始めます。
- ③本機を水平に保ち、加工材に密着させてゆっくりと押し進めます。

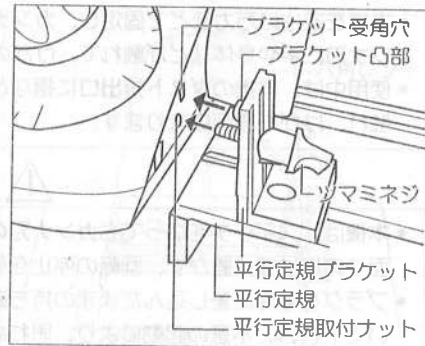


図10

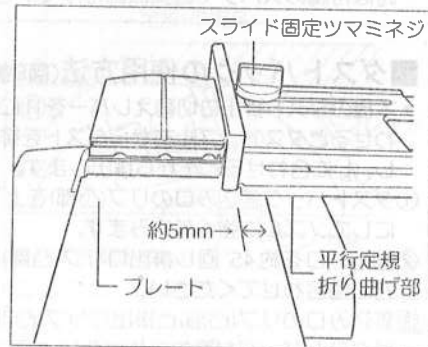


図11

Ⓜ 削り始めと削り終わりは本体が傾きやすく、加工材の端を削りすぎる事がありますので注意して下さい。

- ④最初に切削深さを深くして荒削りをし、次に切削深さを浅くして仕上げるときれいに削れます。

●面取り加工

- 切削深さ調節ツマミを回して面取り幅を設定します。

- ①前定盤の三角溝を、加工する材料の角に当てスイッチの引金を引きます。(図13参照)
- ②スイッチの引金を引き、回転が安定してから削り始めます。

●相ジャクリ加工

- 材料に段差をつける切削加工ができます。(図14参照)

- ①平行定規を本機左、ベルトカバー側に取付けます。

Ⓜ 取付け方は、平行定規取付け方法を参照して下さい。

Ⓜ 平行定規は目安としてご使用下さい。

- ②スイッチの引金を引き、回転が安定してから削り始めます。

Ⓜ 削り方は平面削りの方法を参照して下さい。

Ⓜ 幅67mm、深さ7mmまでの段差加工が可能です。

Ⓜ 平行定規の当たり面はあらかじめ削って水平しておきます。

Ⓜ 平行定規に無用の力をかけますと定規が動いて、削り幅バラツキがでますので注意して下さい。

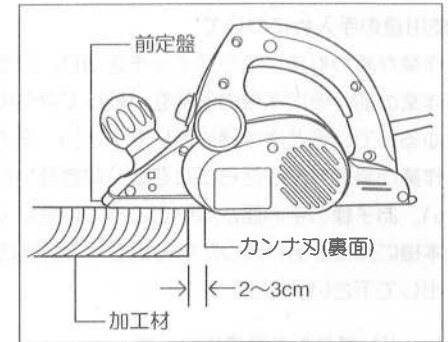


図12

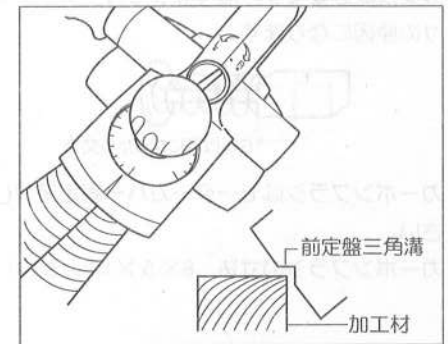


図13

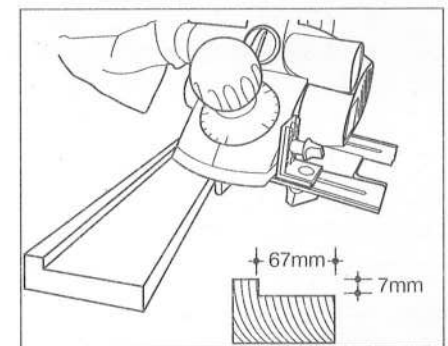


図14

